



南阿蘇鉄道 高森駅・ 交流施設

Minamiaso Railway
Takamori Station
community facility

南阿蘇鉄道高森駅周辺は、平成28年に発生した熊本地震から、南阿蘇鉄道沿線地域の創造的復興の一環として整備された。

南阿蘇鉄道は、阿蘇山・阿蘇カルデラの南部(南郷谷)の地域にとって、住民生活を支える必要不可欠な“地域公共交通の基軸”であると同時に、地域の基幹産業である観光業を支える県内屈指の観光資源である。

高森町は、「定住」・「観光」・「防災」をキーワードに始発・終着駅である高森駅と駅周辺を整備した。

駅舎と交流施設の2つの建物、それらの庇と回廊、塔が芝生広場を囲むことで、観光客が阿蘇のカルデラの風景を眺めることができる駅が実現した。

また、熊本地震で車中泊という避難方法が注目されたことを踏まえ、交流施設を車中泊の支援拠点に、芝生広場を運動場として活用できるよう計画された。

くまもと
アートポリス
KUMAMOTO
ARTPOLIS

南阿蘇鉄道 高森駅・交流施設

●建築概要

一般的に駅舎は町を向くようつくられるが、高森駅は反対の線路側を正面として、芝生広場を持つ「とにかく広いプラットフォーム」とともに乗客を迎えるようにつくられている。ゆるやかな地形のためにプラットフォームと周辺市街地が地続きであるという地形的条件、車内改札のため改札口がなく、誰もがプラットフォームに入って来られるという南阿蘇鉄道の運行方法、そしてカルデラに沈む夕日を西に眺めることができるという方角の特徴を際立たせようというのが、建物が線路側を向いている理由である。ほかに類を見ない配置が可能となったのは、今回のプロポーザルが建物全体の配置計画だけでなく、ロータリーやバス乗降場などの交通計画を含んだ「ランドデザイン」を募るものであったことが決定的な要因となっている。

建築は駅舎と交流施設の2つに分かれ、それらを庇、回廊、塔が繋いでいる。天井は三次元相持ち構造の木組みの「修羅組み」で支え、プラットフォーム部では斜めに広げ、回廊では厚みを持たせ、塔では積み重なるように木組みの形を細かく変えた。木組みの周囲にはUVカットフィルムを挟んだガラスの垂れ壁を設け、退色対策、雨仕舞い、そして夕日を照り返す演出を試みている。庇と回廊については、交通手段の乗り換えをスムーズに行えるようにする一方、夕日や風景を眺めるベンチ、阿蘇の野花による植栽を要所要所に配置した。交通を待つ時間を可能な限り豊かにしたいと考えたからである。

駅舎と交流施設は、直方体の四隅に長方形を貫入させ、その四隅もガラス窓やベンチなどで複雑化させるフラクタルな構成となっている。隅部のガラス窓は、芝生広場、阿蘇五岳、鉄道の風景を意識して高さや位置を調整した。手摺子や扉の引き手にミニチュア鉄道のレールを使ったり、夕日鑑賞を促すために時計の文字盤を変えたり、落日後も町に滞在してもらえよう夜景の演出を行うなど、駅の魅力を高める作り込みも細かく行っている。

地方公共交通の維持が日本全体のテーマとなるなか、鉄道の魅力を利用者に伝える駅の役割は大きい。高森駅では、観光客が快適に利用できるようするだけでなく、中高生が放課後の時間を過ごせたり、鉄道を見ながらピクニックができたり、町の人々がふと夕日を見に立ち寄ることができるような、生活の一部としての駅づくりを目指した。少しでも多くの人々の記憶に残るような駅となることができたら幸いである。

●建築家プロフィール



太田 浩史 (おおた ひろし)

1968年 東京生まれ
1991年 東京大学工学部建築学科卒業
1993年 東京大学大学院修士課程修了
東京大学生産技術研究所助手
デザイン・ヌーブ共同設立
2001年 東京ピクニッククラブ共同主宰
2002年 東京大学都市再生研究センター一研究員
2003年 東京大学都市再生研究センター一研究員
2009年 東京大学生産技術研究所講師
2015年 株式会社ヌーブ代表

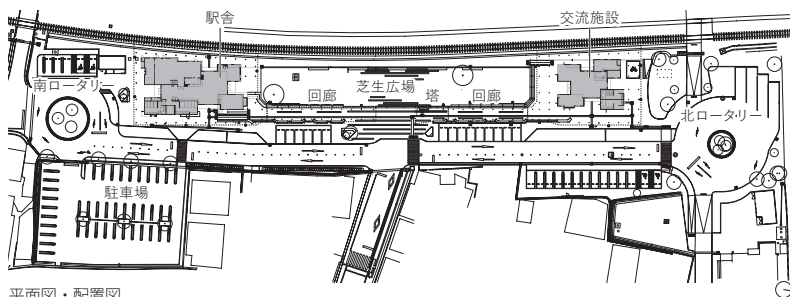
●主な作品

DUET、久が原のゲストハウス、白川橋左岸緑地トイレ、PopulouSCAPE、ピクノボリス、矢吹町第一区自治会館

●主な受賞

2013年 福井市中央公園周辺再整備プロポーザル最優秀案
2018年 グッドデザイン賞(東京ピクニッククラブ)
2018年 日本建築学会作品集(矢吹町第一区自治会館)

PHOTO/太田拓美



平面図・配置図



立面図

●建築データ

名称 / 南阿蘇鉄道高森駅・交流施設
所在地 / 阿蘇郡高森町大字高森1526-3
主要用途 / 駅舎+交流施設
事業主体 / 高森町
設計者 / 太田浩史
施工者 / 株式会社竹内工務店
敷地面積 / 8,551.82㎡
建築面積 / 1,180.17㎡
延べ面積 / 783.07㎡
階数 / 地上2階
構造 / 木造
外部仕上 / 屋根 / 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート t=1.5mm
外壁 / モルタル塗装材吹き付け仕上げ
施工期間 / 2021年11月～2024年6月
事業費 / 988百万円



くまもとアートポリス事務局

熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2537